

# 昔の自分達に助けて貰おう！

～時空間同室感(t-Room)における蓄積情景処理とその応用～

## どんな研究？

テレビ会議は普及しつつありますが、その録画をどうしたらよいか、また会議や共同作業の様子を録画したものをどうしたら有効活用できるのか、という課題が残されています。この展示では時空間同室感 (t-Room) 研究の一環として、過去情景を蓄積し、それを活用する技術を紹介します。

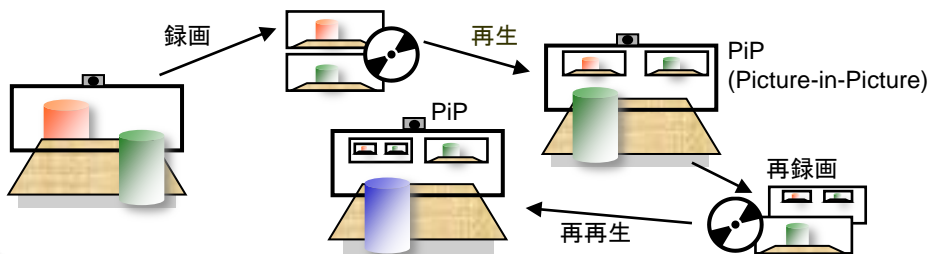
## どこが凄い？

通常テレビ会議を録画し再生すると、会議録画時に誰がどこに座っていたかという空間配置の情報が失われます。実際の人間と画面上の映像とを“同じ部屋に置く”同室感技術は、現在そこに居る人間と録画した過去情景の再生像をも“同室化”し、空間配置整合性を保持した再生を可能にします。

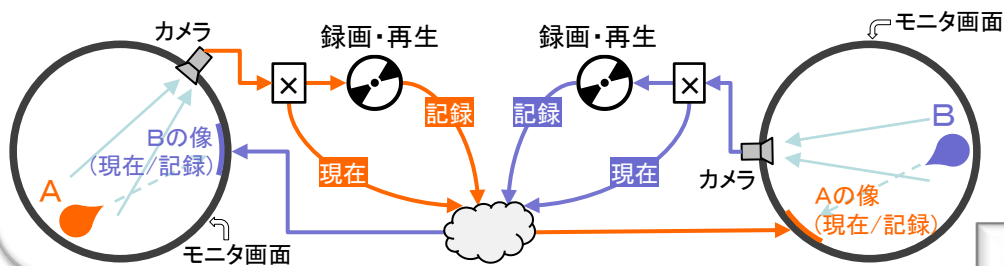
## どんな風に役立つ？

会話を記録しそれを再生しながら返答・質問を再記録する非同期コミュニケーションは、時差のあるグローバルな職場環境や多様な働き方を支援します。またチームやデスクでの作業を全記録し、困り事が生じた際に過去情景を再生することで、「過去の自分(達)に助けて貰える」環境を創ります。

課題：テレビ会議を録画再生すると会議の場にあった空間配置情報が失われる



技術：人と画面上の映像との同室感技術を、現在と記録像との“同室化”に適用空間配置整合性を保持する (コヒーレントな) 蓄積型ビデオ会議等を実現



活用：録画とその再生を活用する蓄積型ビデオ会議／過去情景再生による作業支援

先週 昨日 今朝 昨日 先週 今朝 先週



← 会話や伝言を録画し、それを再生しながら質問・返答を再記録していく非同期蓄積型コミュニケーション環境

チームの会話やPC作業の途中でその空間の過去情景を再生することで作業支援を行う環境→

どのメニューだっけ？ これか



## 関連文献

- [1] 平田圭二, 高田敏弘, “超臨場感を達成するための同室感というアプローチ,” 電子情報通信学会誌 93(5), 410-414, 2010.
- [2] K. Hirata, Y. Harada, T. Takada, N. Yamashita, S. Aoyagi, Y. Shirai, K. Kaji, J. Yamato, K. Nakazawa, “Basic Design of Video Communication System Enabling Users to Move Around in Shared Space,” IEICE Trans. Electron., 92(11), 1387-1395, 2009.

## 連絡先

高田敏弘 (Toshihiro Takada)   メディア情報研究部 コミュニケーション環境研究グループ  
E-mail : takada.toshihiro[at]lab.ntt.co.jp ( {at} の部分を @ に置き換えてください)